

2023 年度統計関連学会連合第 3 回理事会・組織委員会 議事録（案）

日 時：2023 年 12 月 23 日（土）15:00 – 16:00

場 所：オンラインにより実施

出席者：

【2023 年度学会連合理事】

応用統計学会	瀬尾 隆, 渡辺 美智子
日本計算機統計学会	山本義郎, 渡辺敏彦
日本計量生物学会	服部 聡, 松井茂之
日本行動計量学会	狩野 裕, 岩崎 学
日本統計学会	照井伸彦, 川崎能典
日本分類学会	宿久 洋（理事長）, 中山厚穂

【連合大会実行委員会】 西山慶彦（2023）, 橋口博樹（2024）

【連合大会運営委員会】 竹内光悦（2023）, 藤木美江（2024）

【連合大会プログラム委員会】 橋口博樹（2023）, 地道正行（2024）

【JJSD 編集委員長】 増田弘毅

幹事 阿部貴行, 石岡文生, 富田 誠, 本橋永至

組織委員会・審議事項

0. 前回議事録の承認

前回の組織委員会の議事録が確認された。

1. 2023 年度連合大会報告及び決算

- ・ 竹内運営委員長（2023 年度）より、会計報告・決算報告が提出され、審議の結果、原案通り承認された。また、会計および運営に関して、以下の通り、報告および議論があった。
- ・ 当初 850 人ほどの参加者数を見込んでいたが、実際には、参加者数が 1,000 人を超えたため、収入が予算案を大幅に上回った。
- ・ 前年度は大学から様々な補助があり、費用がかからなかったため、予算案の時点では、支出を高めに見積もっていたが、会議をオンラインで行ったこと、アルバイトが少なかったこと、抄録集の運搬費や文具事務用品費を低く抑えられたことなどが積み重なって、支出を低く抑えることができた。
- ・ ペーパーレスの観点から、抄録集を電子化することで、印刷費を圧縮できると考えていたが、実際には、単価が非常に高くなったため、総額としてはあまり変わらなかった。
- ・ 協賛企業から、抄録集における広告の掲載場所を見直して欲しいという声があった。
- ・ 一部のメディア関係者から取材のため無料で参加したいという要望があったが、今回はそれを認めず、メディア対応について、追って理事会で検討することとなった。

2. 2024年度連合大会各副委員長及び委員の委嘱について

- ・ 2024年度の運営副委員長，プログラム副委員長および各学会からの選出委員について，以下の通り，承認された

[運営委員]

藤木美江（愛知淑徳大学，委員長）
富田誠（横浜市立大学，副委員長）
石井晶（東京理科大学，応用統計学会）
中村智洋（京都女子大学，日本計算機統計学会）
小田牧子（防衛医科大学校，日本計算機統計学会）
長島健悟（慶應義塾大学，日本計量生物学会）
石井亮太（筑波大学，日本計量生物学会）
猪狩良介（法政大学，日本行動計量学会）
藤井孝之（滋賀大学，日本統計学会）
松本智恵子（福井大学，日本統計学会）
山下直人（関西大学，日本分類学会）
川崎玉恵（青山学院大学，委員長推薦）

[プログラム委員]

地道正行（関西学院大学，委員長）
内藤貫太（千葉大学，副委員長）
山本紘司（横浜市立大学，応用統計学会）
西山貴弘（専修大学，応用統計学会）
杉本知之（滋賀大学，日本計算機統計学会）
山田隆行（京都女子大学，日本計算機統計学会）
伊藤陽一（北海道大学，日本計量生物学会）
平川晃弘（東京医科歯科大学，日本計量生物学会）
上阪彩香（大阪成蹊大学，日本行動計量学会）
植松良公（一橋大学，日本統計学会）
竹内明香（上智大学，日本統計学会）
谷岡健資（同志社大学，日本分類学会）
黒沢健（東京理科大学，委員長推薦）

[実行委員]

橋口博樹（東京理科大学，委員長）
朝日弓未（東京理科大学）
瀬尾隆（東京理科大学）
寒水孝司（東京理科大学）
田畑耕治（東京理科大学）
椿美智子（東京理科大学）
照井伸彦（東京理科大学）
村上秀俊（東京理科大学）
下川朝有（東京理科大学）
菅原慎矢（東京理科大学）

3. 2024 年度連合大会運営方針について

- ・ 橋口実行委員長（2024 年度）より、2024 年度連合大会の運営方針について、以下の通り、情報共有、報告および議論がなされた。
- ・ 基本的にハイブリッド方式で行うが、オンラインの規模については、これから決める。
- ・ 現時点で、懇親会の会場として 6 か所候補があり、どこか 1 か所を選ぶ予定。

4. その他

- ・ 2025 年度の連合大会は関西大学（松本 渉 実行委員長）にて開催することが承認された。

連合理事会・報告事項

1. JJSD の現状について

- ・ 増田編集委員長より、JJSD の現状について、2023 年の投稿論文数は現時点で 152 本であることや今後の特集予定について報告があった。

2. 統計教育推進委員会について

- ・ 宿久理事長より、統計教育推進委員会の委員長を宮崎大学の藤井先生、副委員長を立正大学の渡辺先生、各委員を以下の通り依頼することが報告された。

[統計教育推進委員会委員]

藤井良宜（宮崎大学，応用統計学会）（委員長）

酒折文武（中央大学，日本計算機統計学会）

大森崇（京都大学，日本計量生物学会）

渡辺美智子（立正大学，日本行動計量学会）（副委員長）

竹内光悦（実践女子大学，日本統計学会）

竹内光悦（実践女子大学，日本分類学会）

3. 後援・協賛について

宿久理事長より、次の事業・会議に後援したことが報告された。

- ・ 学術会議公開シンポジウム「数学教育の変遷～数理・データサイエンス・AI 時代における数学教育の変革及び女性人材の登用に向けて」（2023 年 8 月 2 日，日本学術会議講堂）後援
- ・ 応用統計学フロンティアセミナー「デジタル時代における AI・応用統計学の潮流と人材育成・高等教育改革」（2024 年 1 月 28 日，東京理科大学）後援

4. 日本学術会議での議論について

- ・ 宿久理事長より、日本学術会議の中の数理科学委員会・数理統計学分科会で大学における数理・データサイエンス・AI 教育の中の統計科学の教育について、9 月 26 日付けで見解が出ていた旨報告があった。

5. 異分野異業種研究交流会について

- ・ 宿久理事長より、10 月 14 日に中央大学にて異分野異業種研究交流会が開催され、文部科学省や企業から多くの方が参加されていたこと、統計関連学会連合から、博士後期の

学生のポスターが出されていた旨報告があった，
連合理事会・審議事項

0. 前回議事録の承認

前回の連合理事会の議事録が確認された。

1. 法人化について

- ・ 東海大学の山本理事より，日本理学療法学会連合の定款の概要と法人化するにあたって検討すべき事項について説明があった。
- ・ 宿久理事長より，法人化のための調査費 5～10 万円を計上する旨提案があり，承認された。